

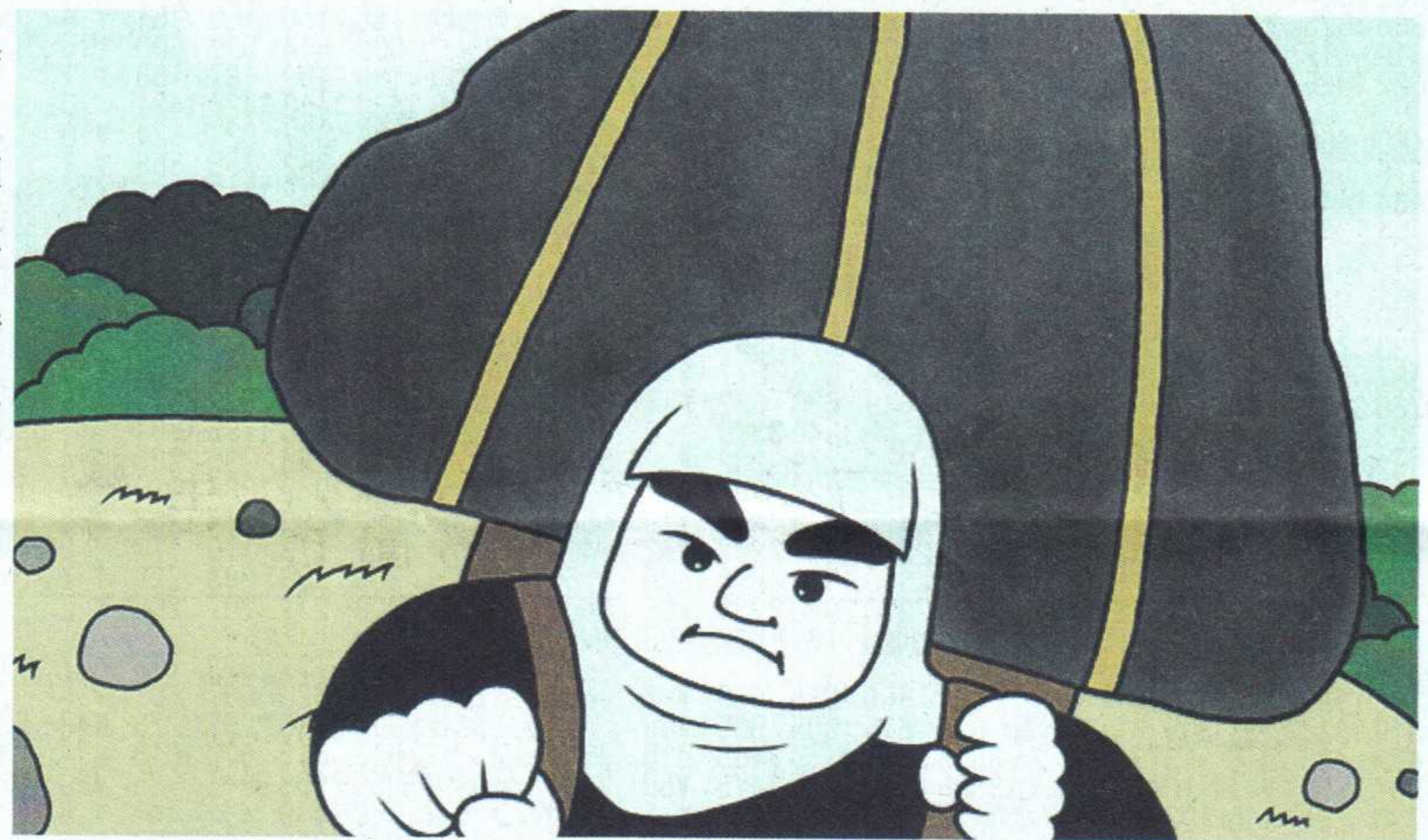
3月は穴水町と白山市が話の舞台

第23話「別所岳と弁慶石」あすから放送

金沢ケーブルテレビネット(KCT)は1日から、「常田富士男さんと歩く加賀・能登むかし話の旅」の第23話「別所岳と弁慶石」(穴水町)を「北國新聞 ニュース・プラス」(地デジ9ch)で放送します。人気アニメ「まんが日本昔ばなし」のナレーションで知られる声優の常田さんが語り部となり、切り絵風アニメとともに紹介します。15日からは、第24話の「泰澄と大蛇退治」(白山市)を放送します。

北國新聞社やKCTなどで行う実行委員会が昨年4月から始めた企画です。毎月2話ずつ北國新聞社は紙面特集で、KCTは1話15分番組で紹介しています。今月放送分を含め、取り上げる昔話は県内全19市町の24話となります。

別所岳と弁慶石(穴水町)



巨石を山頂に担ぎ上げる弁慶

能登の別所岳の女の比咩神と、石動山の男の比古神の結婚話が持ち上がり、山の背比べをして高い方の山の頂に住まうことになった。比咩神の家族は別所岳の方が高いと考えた。別所岳山頂に2人の新居となるお堂を巨石で建てるために準備を進め、能登に立ち寄った弁慶に巨石を運び上げてくれるよう頼んだ。弁慶はあちこちの海岸で大きな石を探し当て、山頂まで担ぎ上げたのだが：

解説

別所岳は標高358メートルの山で、能登における古代山岳宗教の拠点のひとつでした。大勢の修行僧らが入り込んでいたとみられます。弁慶にまつわる伝承は海岸部に多いのですが、「別所岳と弁慶石」をはじめ、七尾市豊田町の義経腰掛け石や、同市江曾町の弁慶の割石など、内陸部にも多く伝わっています。(加能民俗の会副会長・西山郷史さん)

神の新居造るため

巨石を山頂に運んだが……

「常田富士男さんと 感じがしてきます

泰澄と大蛇退治(白山市)

歩く加賀・能登むかし話「まんが日本昔ばなし」のナレーションで知られる声優の常田さんが語り部となり、切り絵風アニメとともに紹介します。15日からは、第24話の「泰澄と大蛇退治」(白山市)を放送します。

1300年ほど前、泰澄とい